

平成25年度 夢ある 心ある 力ある 湊山小学校 アクティブプラン

神戸市教育の努力目標 : 心豊かに たくましく生きる人間の育成

特色ある学校づくり

人は人によって人になる

社会の変化への対応

〈めざす学校の姿〉

- ・「アツイ=ホットな学校」
子どもに熱く関わり、ほっとできる居場所のある、子どもにとって居心地の良い学校
- ・「子どものためにある」学校
- ・安全・安心・安定した学校
- ・小規模校のメリットを生かした魅力あふれる学校
- ・すべての子どもの学びと育ちをより充実させる学校
- ・子どもと教職員が共に育つ学校
- ・PTA、地域と共に歩む学校

教育目標

やる気 いっぱい
やさしさ いっぱい
元気 いっぱい

〈めざす子どもの姿〉

“強く生きていく力”を身につけた子

- ・自信を持って全力で取り組み、最後までがんばる子
- ・自分の思いや考えを表現できる子
- ・自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる子
- ・確かな学力を身につけた子

〈めざす教師の姿〉

- ・「教職員全員で全児童を育てる」という気概を持った教師
- ・自己変革への努力を惜しまない教師
- ・教職員同士が、一致団結の信頼関係で結ばれ、常に研鑽する教師
- ・教えるプロとして、資質・指導力の向上をめざす教師
- ・アツイ教師
- ・子どもに熱くホットな気持ちで関わる教師。
- ・重なり合い、つながり、層の厚い教職員集団。

分かる授業・楽しい学校

【三つの「いっぱい」】

① やる気いっぱい

- ・自尊感情を高める
- ・個に応じた指導の充実
- ・学力向上に焦点化した授業改善

② やさしさいっぱい

- ・仲間づくり、学級集団づくり
- ・高め合う集団の育成
- ・自他ともに全ての命あるものを大切にしておしむ心の育成
- ・コミュニケーション能力の育成

③ 元気いっぱい

- ・基本的生活習慣の確立
- ・体力向上への日常的な取組の推進
- ・あいさつ運動の推進
- ・規範意識の徹底

情報発信する学校

【PDCAサイクルによる学校評価】

- ① 学校だより・学年だより・ホームページの充実
・学校情報の積極的な発信
- ② 学校自己評価の推進
・全教職員による学校自己評価の推進
- ③ 学校関係者評価・外部評価の推進
・アンケートによる児童・保護者・地域からの評価
- ④ 学校評議員制度の積極的活用
・学校評議員による学校評価
・評議員の意見を反映させる学校運営

家庭・地域・学校の連携

- ① 家庭・地域と連携した基本的生活習慣の確立
・家庭への啓発活動
・近隣校間の連携
・「学校の学び」と「家庭の学び」をつなぐ家庭学習の推進
↓
自尊感情を高め、自己成長力を高める
- ② 保護者とつくる教育内容
・ふれあい活動
・ブックママ
・保護者の学習支援活動
・ゲストティーチャー等外部人材の積極的な活用
- ③ 安全・安心の学校づくり
・地域諸団体との連携
・登下校の見守り活動
・継続的な集団登校指導

教育・学習環境の改善

【学校の組織力

教員の力量を高める】

- ① 全教職員で組織的に全児童を指導
・児童理解に基づく指導体制 (LTC)
・隣接学年での打ち合わせ
・全職員相互の協働体制
- ② 授業力・学級経営力の向上
・全員授業による研修の充実
・外部講師の招聘

学年づくりの指標		地域に根ざした集団づくり
1年	やさしく なかよく つよく	○集団登校の実施 (なかよしグループの組織) 安全な登校 地域で育つ仲間づくり ○異年齢集団でのふれあい活動 (ゆうゆうグループの組織) 木曜日のゆうゆうタイム 兄弟学年での活動 集会活動
2年	なかよく 協力 考え チャレンジ	
3年	聞いて 考えて 伝えて やりとおす	
4年	自分の考えを伝える子 互いの良さを認め、自信をもって取り組む子	
5年	一歩踏み出す勇気をもって 仲間とともに最後までやりとげる子	
6年	自ら考え、進んで行動し、仲間と共に高め合う子	
ひまわり	なかよく 元気に がんばる子	
音楽	自分の思いを持って 歌って 奏でて 伝える子	
図工	一人一人の良さを認め合い 自分に自信を持って 心いっぱい表現する子	
保健	こころも からだも 元気な子	

1. 分かる授業・楽しい学校

【三つの「いっぱい」】

① やる気いっぱい

☆「生きる力」のもとになる『意識改革』

- 自尊感情を高める
 - 自主的、意欲的に取り組める課題、「主役」になる場の設定
 - 自分で考え、解決する力を身につけさせるための、力の限り頑張った経験と達成感・成就感の重視

☆「生きる力」の基礎基本となる学習内容の定着
☆「確かな学力」の育成

- 個に応じた指導の充実
 - 少人数指導、複数指導など、多様な指導方法の研究
 - 家庭学習の充実
 - 補充学習（アップ2タイム・放課後学習会）の充実
- 学力向上をめざした授業改善

② やさしさいっぱい

☆規律と友情のある良好な人間関係、人間形成を図る

- 仲間づくり・学級集団づくり
- 高め合う集団の育成
 - 互いのよさを認め合い、伝え合う活動
 - 正しいことは正しい、いけないことはいけないと言える、鍛え合う仲間づくりを進める学級経営
- 全ての命あるものを大切にいとおしむ心の育成
- コミュニケーション能力の育成
 - 自己表現力の育成と場の設定

③ 元気いっぱい

☆言葉と体験を重視した授業と指導

- 基本的な生活習慣の確立
 - あいさつ運動の推進
 - 「**あ**かるく**い**つも**さ**きに**く**づけておじぎ」の指導
 - 「返事、話す、聞く」の指導
- 規範意識の徹底
- 体力向上、健康増進に向けての日常的な取組の推進
 - 体育指導の充実
 - 新体力テストの実施
 - 外遊び、汗かきタイムによる体力向上

2. 情報発信する学校

【PDCAサイクルによる学校評価】

☆学校評価を生かした学校づくり

① 学校だより・学年だより・ホームページの充実

- 学校情報の積極的な発信
 - 学校ホームページのタイムリーな更新
 - 何をどのように発信するのか意図を明確にした学校・学年・学級だよりの作成

② 学校自己評価の推進

- 全教職員による学校自己評価の推進
 - 学期ごとの自己評価、次年度に生かす年度末自己評価
 - 評価内容の公表

③ 学校関係者評価・外部評価の推進

- アンケートによる児童・保護者・地域からの評価
 - 保護者・地域は年2回実施（6月・1月の学校公開時）
 - 学校だより（臨時号）での結果報告
 - 児童は、一つの単元終了時や行事終了後適宜

④ 学校評議員制度の積極的活用

- 学校評議員による学校評価
 - 日常的な学校観察・授業公開
- 学校評議員の意見を反映させる学校運営
 - 評議員会での話題を学校だより等で発信

3. 家庭・地域・学校の連携

【小規模校ならではの連携】

① 家庭・地域と連携した基本的な生活習慣の確立

- 家庭への啓発活動
 - 学校公開、学校・学年・学級だより
- 近隣校間の連携
 - 情報交換・共有
 - 中学校ALTの活用
- 「学校の学び」と「家庭の学び」をつなぐ家庭学習の推進
 - 手引・カードの活用、重点実施期間の工夫

② 保護者とつくる教育内容

- ふれあい活動
- ブックママの活動（読み聞かせボランティア）
- 保護者の学習支援活動
- ゲストティーチャー等外部人材の積極的な活用

③ 安全・安心の学校づくり

- 地域諸団体との連携
- 登下校の見守り活動
- 継続的な集団登校指導

4. 教育・学習環境の改善

【学校の組織力・教員の力量を高める】

① 全教職員で組織的に全児童を指導

- 児童理解に基づく指導体制
 - 日常的な情報交換（LTCの活用）
- 隣接学年での打ち合わせ
 - 単級のデメリットを緩和
- 全職員相互の協働体制
 - 教職員自身の自尊感情を高める
 - 明るく、仲良く、風通しの良い職場

② 授業力・学級経営力の向上

- 全員授業による研修の充実
 - 教師間の授業公開の日常化
- 大学との連携による家庭学習の取組
 - 兵庫教育大学